

Oracle Java SE 8 公式アップデート終了の対応について

【概要】

Oracle 社から提供されている Java SE 8 の公式アップデートは 2019 年 1 月末に終了します。これにより HA8000V システム装置をご使用のお客様は、対応が必要となる場合があります。本コンテンツの内容をご確認いただき、対応をご検討ください。

【影響】

Oracle Java SE 8 の公式アップデート終了後は、セキュリティ脆弱性対策などのアップデートを無償でご利用できなくなります。

【対象製品】

HA8000V シリーズシステム装置において、下記表に示す機能、アプリケーションをご使用の場合、前提ソフトウェアとして Java Runtime Environment (以下、JRE) をインストール頂いています。

項	システム装置	分類	対象機能/アプリケーション
1	HA8000V シリーズ	標準機能	リモートコンソール (Web Start)
2		アプリケーション	JP1 イベント通知ツール

【対応方法】

ご使用の機能、アプリケーションに応じて、以下に示す対応方法の適用をご検討ください。

(1) リモートコンソール(Web Start)の対応

(a) もしくは (b) の対応をご検討ください。

(a) Oracle JRE 8 を使用する。

Oracle JRE 8 のアップデート入手には、Oracle 社と有償のサポート契約が必要になります。Oracle JRE 8 のサポート契約の詳細につきましては、Oracle 社ホームページをご覧ください。

(b) Oracle JRE SE 8 を使用しない (Web Start 以外) のリモートコンソール機能、リモートコンソールアプリケーションを使用する。

HA8000V システム装置のリモートコンソール機能の起動/使用方法には、Web Start、Applet、HTML5、.NET の 4 種類があります。Applet、HTML5、.NET については、Oracle JRE 8 を必要としませんので、Applet、HTML5、もしくは、.NET の使用をご検討ください。

尚、Applet、HTML5、.NET によるリモートコンソール機能には、使用要件、起動/操作方法、画面表示、使用できる機能などに違いがあります。詳細は、「iLO 5 ユーザーガイド」をご確認ください。

また、Standalone Remote Console も Oracle JRE 8 を必要としません。Standalone Remote Console は、最新版を HA8000V ダウンロードサイトからダウンロードしてご利用ください。

(2) JP1 イベント通知ツールの対応

(a) もしくは (b) の対応をご検討ください。

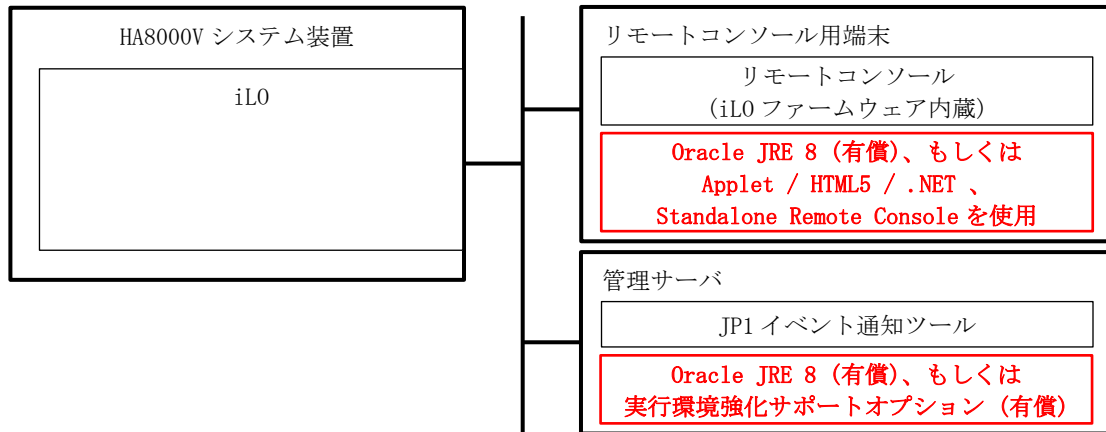
(a) Oracle JRE 8 (64bit) を使用する。

Oracle JRE 8 アップデート入手には、Oracle 社との有償のサポート契約が必要となります。Oracle JRE 8 のサポート契約の詳細につきましては、Oracle 社ホームページをご覧ください。

(b) 実行環境強化サポートオプション for Java [P-293Z-7J94] (Ver. 09-70 以降) を使用する。(*1) 実行環境強化サポートオプション for Java をお持ちでないお客様はご購入いただく必要があります。

(*1) 実行環境強化サポートオプション for Java のご使用には、JP1 イベント通知ツール Ver. 01-04 以降が必要です。JP1 イベント通知ツール Ver. 01-04 は、2019 年 2 月初旬頃に HA8000V ダウンロードサイトに掲載予定です。必要に応じて、JP1 イベント通知ツール最新版を HA8000V ダウンロードサイトからダウンロードしてご利用ください。

【対応後のイメージ】



【更新来歴】

2019 年 1 月 新規作成

- 本ページで記載している内容を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。